



院生ライフレポート

2023年
第7号(11月)



☆ 教職大学院 1年生後学期の授業を一部紹介します ☆

第6号で、佐賀大学教職大学院の後学期はコース別の授業が増えることをお伝えしました。そこで、今回は、各コースの授業の様子をご紹介します。

子ども支援探究コース:発達障害を持つ子どもの理解と支援

(小松原先生)

発達障害を持つ児童・生徒の理解とその支援について、アセスメントの総合的解釈を行い、学級集団・個別指導などの場面に応じた、具体的で効果的な支援・指導の在り方について明らかにする授業です。右の写真では実際に、WISC-IVやDN-CASなどを手に取りながら、検査結果の分析や児童への支援の方法を考えている様子です。



教育経営探究コース:学校内外連携・協働論

(荻野先生, 江口先生)

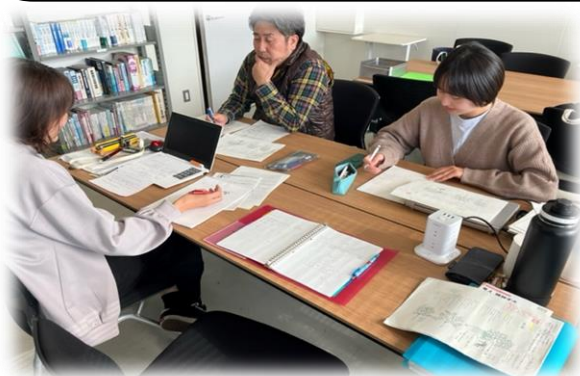
社会教育学を専門とする研究者教員の荻野先生と、学校現場と大学院を兼務する実務家教員の江口先生から、学校内外の連携について実践的な教育を学ぶ授業です。児童生徒の課題解決および健全育成を図る上では、学校内外の連携・協働が不可欠です。学校内外の連携に関して必要な知識を習得するとともに、各学校内外の資源を見直しています。左の写真では、各学校の取り組み等について、発表を通して学び合っています。



授業実践探究コース:授業実践の研究

(米田先生, 堤先生, 後藤先生, 野田先生)

各教科で共通する授業研究の方法、授業観察の観点及び評価の方法について学ぶ授業です。1時間の特別の教科道徳の授業を4人で考え、佐賀大学附属中学校で実践します。その授業の中で、データを収集し、4人で分析を行います。最後に、それぞれの解釈を発表し、議論を行います。右の写真は、小学校、中学校、高等学校の現職大学院生とストレートマスターという多様性を生かし、授業づくりに励んでいる様子です。



○写真は各コースの授業の様子です。

○探究実習で得たものを生かし、各コース特有の学びを深めることができます。

編集:K&O